

7月27日(木曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、上値の重さを確認

26日(水)の為替相場



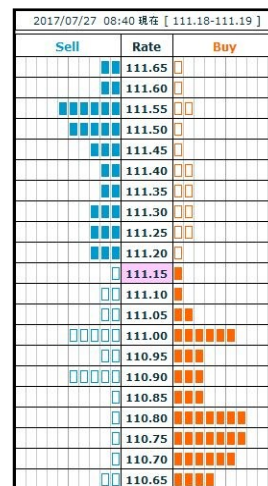
期間 : 26日(水)午前6時10分~27日(木)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所: 外為どっとコム

- ① 豪4-6月期消費者物価指数が前年比+1.9%に留まり市場予想(+2.2%)を下回ると豪ドル売りが強まった。なお、豪準備銀行(RBA)が重視する基調インフレ率は前年比+1.80%となり、RBAのインフレ目標を下回る水準ながらも市場予想(+1.75%)を小幅に上回った。
- ② ロウRBA総裁が「世界の他の中銀に金利で歩調を合わせる必要はない」「2%の平均賃金成長では2.5%のCPIを生み出すのに苦勞するだろう」「豪ドルがやや下落すれば、もっとよい」と述べた事が伝わると豪ドル売りが再開した。
- ③ 英4-6月期国内総生産(GDP)・速報値は前期比+0.3%、前年比+1.7%と市場予想と一致したため、ポンド相場に目立った反応は見られなかった。
- ④ 米連邦公開市場委員会(FOMC)は予想通りに追加利上げを見送り、FF金利の誘導目標を1.00-1.25%に据え置いた。声明では「全体のインフレ率と、食品やエネルギーの価格を除く指標は低下し、2%を下回っている」として、物価情勢の判断をやや引き下げた(6月声明では「2%を幾分下回っている」としていた)。物価見通しについては、「インフレは短期的には引き続き2%をやや下回るが、中期的には目標の2%付近で安定する」との予測を維持した上で「委員会は物価の動向を注意深く監視する」とした。市場はこれをややハト派的と受け止めて米債買い(金利低下)とともにドル売りが優勢となった。なお、バランスシート正常化(縮小)の開始時期については、前回の「今年中に」から「比較的早期に」へ変更した。

26日(水)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
20050.16 (△94.96)	5776.625 (△50.028)	3247.675 (△3.986)	7452.32 (△17.50)	12305.11 (△40.80)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21711.01 (△97.58)	0.0790% (△0.0030)	2.730% (△0.040%)	1.233% (▼0.025)	0.561% (▼0.005)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3551% (▼0.0348)	2.2872% (▼0.0482)	48.75 (△0.86)	1255.60 (▼2.90)	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.400-111.600	129.600-131.300	88.300-89.600	145.000-146.700

【ドル/円】

昨日のドル/円は一時112円台を回復するも、200日移動平均線や日足の一目均衡表の転換線などが重なる112.10円前後を超えられず反落。結局、雲の中に押し戻されて取引を終えており、上値の重さが目立つ。こうした中、目先的には下値模索の機運が高まりやすいと考えられる。昨日NY市場から本日早朝にかけてサポートとなった111円ちょうどを割り込むようならば、今週24日に付けた月初来安値(110.623円)に向けた一段安もあるだろう。なお、本日は米国で6月耐久財受注や新規失業保険申請件数、7年債入札(280億ドル)などが予定されている。

執筆者：川畑

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/27(木)	10:30		(豪) 4-6月期輸入物価指数(前期比)	+1.2%	+0.7%
	21:30	○	(米) 新規失業保険申請件数	23.3万件	24.0万件
	21:30	○	(米) 6月耐久財受注(前月比)	-0.8%	+3.7%
	21:30	○	(米) 6月耐久財受注(前月比:除輸送用機器)	+0.3%	+0.4%
	21:30		(米) 6月卸売在庫(前月比)	+0.4%	+0.3%
	26:00		(米) 7年債入札(280億ドル)	—	—
7/28(金)	08:30		(日) 6月全国消費者物価指数(前年比)	+0.4%	+0.4%
	08:30	○	(日) 6月全国消費者物価指数(生鮮食品除く:前年比)	+0.4%	+0.4%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。